

令和3年度 学校経営方針

教育目標 深く考え 心豊かに 実践する生徒

重点目標(目指す生徒像)

○ これからの社会をよりよく生きぬく生徒

- ・自ら課題を設定し, 課題解決に向けて, 主体的に行動する
- ・自他の違いを認め合い, 他を尊重しつつかわり合い, 合意形成する
- ・社会の変化に対応し, 柔軟な発想と豊かな表現で未来を構想する
- ・世界的視野で考え, 地域での活動を通して, 地域貢献や社会貢献する

R3学校経営の基本方針

◇**3C(Challenge, Change, Comfort) & 3T(Technology, Tradition, Thrive)**

UGP, アップグレードプロジェクト ~南浜の教育レベルをあげる~

◇**夢・未来・南浜プロジェクト Glocal School For SDGs**

・学校運営協議会, 地域の人々に南浜中の目指す姿を理解してもらい合意形成する

◇**持ち味を生かし, 個性を認め合い, 1人1人が輝く全員主役の学校**

[教師の姿勢]

生徒も教師もアップグレード → 指導力のアップデートとバージョンアップ
(No challenge No gain, 挑戦なくして進歩なし やるしかない!)
できない理由を考える → 子どものせいにならない, できない理由を取り除く
のりしろとお互いさま → 気づかいと思いやり, 情けは人のためならず

1 主体的・対話的で深い学び

<UGP組織目標>

○ 振り返りを核に, ICTを活用した授業改革により, 学力の向上を図る

- 振り返りを充実させる課題設定, ICT活用による振り返りの質の向上
- 単元のまとまりを意識した振り返りの振り返りによる学力の向上
- 振り返りをもとに, 主体的に家庭学習に接続するシンカタイムの有効活用
- 目指す資質・能力を育成する, ICT, 思考ツールの活用等, 積極的な「しかけ」による, 主体的・対話的で深い学びへの授業改革
- 主体的で対話的な深い学び実現と, それに対応する3観点の評価の妥当性の検討
- 総合的な学習の時間を中心にした, 探究活動の質の向上を目指す, 教科横断的な学習

カリキュラムマネジメント

2 自立性と社会性

<UGP組織目標>

○良好なコミュニケーションによる主体的な活動で、集団の質の向上を図る

- あいさつ、コミュニケーション能力、合意形成能力の向上による。より良い集団づくり
- 規範意識とセルフマネジメント力を高めることによる自律性の育成
- 良好なコミュニケーション能力や対人関係能力を育成するための、ソーシャルスキルトレーニング、構成的グループエンカウターの計画的実践
- 特別活動を核に、話し合いグランドルールやKPT法を活用した、自主的活動の推進による自浄作用の向上
- 教科横断的な学習におけるアウトプットの訓練による、正しい自己表現の向上

カリキュラムマネジメント

3 共生教育・UDL

<UGPの方向性>

○共通理解とICT活用で、一人一人のニーズに合わせた合理的配慮の提供を図る

- 生徒一人一人の特性把握と、特性に応じた合理的配慮のすべての生徒に対する提供
- 合理的配慮に関する、職員間、学校と家庭間の共通理解の徹底
- 南浜中スタンダード10を継続と改善、UDLの意識化と実践
- 合理的配慮におけるICT活用、活用方法研究の推進
- SDGsを視点に、世界的視野で考え、誰一人取り残さない持続可能な教育の推進

カリキュラムマネジメント

4 健康体力の向上・基本的生活習慣

<UGPの方向性>

○三点固定を徹底し、自らの手で生活習慣の改善を図る

- グリーンノート、タブレットを活用した、三点固定の徹底
- 時間管理の意識を高めることによるメディアコントロール
- ネット・スマホ・SNSに関するルール作りにおける生徒の主体的な取組
- 保護者、地域を巻き込んだルール作り
- 体力の向上を目指した、授業、部活動その他の活動の工夫と充実

5 地域連携～夢・未来・南浜プロジェクト～

社会に開かれた教育課程

<UGPの方向性>

○コミュニティースクール実施に向けた、地域融合の構築を図る

- 単元配列表に位置づけ、地域連携活動の整理と意味づけによる教科横断的な学習
- 持続可能でWin-Winの地域連携のCSへの接続
- 学びの拠点作りと生徒の地域貢献を核にした、地域融合システムの構築
- キャリア教育の視点から、外部の人材を活用した多様な教育活動の展開
- コロナ禍での活動の工夫と広報活動、情報発信の充実・改善

カリキュラムマネジメント

ベクトルを合わせた全職員の参画による学校改革